

■工学域 機械系学類 航空宇宙工学課程

○ディプロマ・ポリシー

航空宇宙工学課程は、本課程のカリキュラムに沿って、教育目標にかかげる以下の能力を身に付けたものに学士（工学）の学位を授与する。

1. 数学、物理学及び情報科学に関する知識とそれらを工学に応用できる。
2. 航空宇宙工学の専門知識と技術を体系的に工学に応用できる。航空宇宙工学の専門知識と技術とは、流体力学、推進工学、構造工学、誘導・制御工学、システム工学、宇宙環境利用工学に関する知識と技術を指す。
3. 日本語等で、航空宇宙工学に関連する文章を、読み、書くことができ、論理的な議論ができる。
4. グローバル化し、高度にネットワーク化された情報化社会に柔軟に対応できるように、豊かな教養に基づき、多面的に物事を考えられる。
5. 国際的コミュニケーション能力が高く、異文化との交流を行う対話ができ、自己表現ができる。
6. 航空宇宙工学の専門領域において、社会および自然に及ぼす影響や効果、およびこれらの分野の専門家、技術者が社会に対して負っている責任を理解し、具体例を通して倫理観とそれに基づく判断・行動ができる。
7. 航空宇宙工学の専門分野を利用して、社会の要求を解決するための創造（デザイン）ができる。
8. 生涯学習の観点から、自主的、継続的に航空宇宙工学の専門分野について、その応用を含む学問分野全般を学習できる。
9. 与えられた制約のもとで計画的に仕事を進め、まとめることができる。